

群馬

※2023年春実施の全国公立高校入試情報は、2022年12月9日現在によるものです。

1. 日程

[前期選抜・連携型選抜]

○学力検査等

2/13（・14）

○合格発表

2/21

[後期選抜]

●学力検査（・面接等）

3/8・9

○合格発表

3/16

※追検査 3/24

2. 学力検査

[前期選抜・連携型選抜]

国語：40分・50点

数学：40分・50点

英語：40分・50点

<150点満点>

※学力検査に代えて、自校作成の総合問題を実施する高校がある。

[後期選抜]

国語：100点

数学：100点

英語：100点

理科：100点

社会：100点

<500点満点>

※時間は45～60分の範囲で、各高校が教科ごとに定める。

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

※各教科内の点数配分を、学校・学科で増減できる。

○英語聞き取りあり

○国語課題作文あり（例年）

3. 調査書

[評定の記載方法]

○1年…5段階（絶対評価）

○2年…5段階（絶対評価）

○3年…5段階（絶対評価）

[調査書点の算出方法]

必修教科及び外国語の評定を資料とする。

（別記2成績一覧表の作成等より類推…3学年：9教科×5段階＝45点）

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

高校により異なる。

後期選抜では学力検査重視がほとんど。

[判定方法]

■前期選抜

調査書・実施検査等の結果を総合して選抜する。

※各検査項目および調査書の比重は、合計が10になるように、高校が独自に設定する。

※「A選抜」「B選抜」の2つに区分して募集を行う場合は、区分ごとに、またはすべての受検者を対象に段階を設けて選抜を行う場合は、段階ごとに、選抜方法を定めて選抜する。

■後期選抜

調査書・学力検査・面接等(実施する場合)の各検査項目の比重の合計が10になるよう、各高校が配分する。

実施した検査と提出書類等を統合して選抜する。

※松井田で、調査書と学力検査の比重を変えたA・B2段階の選抜を実施する。

5. 推薦入学等

■前期選抜（自己推薦型選抜）

全高校・全学科で実施。

志願理由書を提出。

[検査内容]

学力検査または総合問題，《面接，英語面接，実技検査，作文，小論文，パーソナル・プレゼンテーション等》

[定員に対する比率]

10～50%が標準

○西邑楽のスポーツ科・芸術科…100%

○高崎経済大学附属の芸術コース…80%

■連携型選抜

尾瀬・万場・嬭恋

日程・検査内容は前期選抜と同様。募集人員は定めない。

志願理由書を提出。

※連携型高等学校は、前期選抜(連携型中学校から当該連携型高校への出願はできない)、後期選抜もそれぞれ募集人員枠を設けて実施する。ただし、連携型選抜と前期選抜で募集定員を満了した場合は、後期選抜を行わない。

また、連携型選抜で不合格となった者は、当該連携型高等学校を除く高等学校の後期選抜に出願できる。

6. 備考

通学区域は、前・後期ともに全県一区。

※尾瀬の自然環境科、万場の普通科(ただし、第2学年で水産コースを希望する者)、嬭恋のスポーツ・健康コース(ただし、スケート実技を選択する者)については、全国募集。

高校により、前・後期ともに、募集人員を2つに区分(A選抜・B選抜)して募集を行うことができる。

後期選抜において、多くの高校が、面接等を実施。

※新型コロナウイルス感染症等、やむを得ない事情により後期選抜を受検できなかった者を対象に、追検査を実施する。

■海外帰国者等入学者選抜

すべての学校・学科で実施する。

○前期選抜

基本的に、志望校の募集定員の内で、他の受検者と同様の検査を実施。

○後期選抜

前期選抜と同様であるが、学力検査は国数英3教科と作文、面接を実施する。

[後期選抜；学力検査の傾斜配点]

○前橋、高崎、桐生の普通科、桐生清桜のアドバンスト探究コース、太田、太田東、太田女子、沼田、高崎経済大学附属…国・数・英×1.5

○高崎女子…国・数・英×1.2

○桐生の理数科…数・理・英×1.5